

看護学部看護学科の教育課程

1. 2022年度～2025年度入学生

(1) 看護学科 教育課程表及び履修するための条件(2022年度～2025年度入学生)

科目区分	科目 ナンバー コード	授業科目の名称	配当 年次	授業 形態	時間 数	単位数		単位修得後に初めて 履修が可能となる 科目のナンバーコード	進級 条件	卒業要件等	ディプロマ・ ポリシー				
						必修	選択				①	②	③		
基礎 教養 科目	A-22-101	入門ゼミナール	1通	演習	60	2			①	必修科目 18単位 選択科目 8単位以上修得 ただし、「生き物の 科学(生物学)」「物 質の反応(化学)」「 物質の科学(物理 学)」の中から2単 位以上修得、「法学 (日本国憲法)」「哲 学」「社会学」の中 から2単位以上修得、 「英語V」「英語VI」 「英語コミュニケーション」 「集中英語 演習」「中国語」の 中から2単位以上 修得	○				
	A-22-102	基礎ゼミナール	2通	演習	60	2			②		○				
	A-22-103	生き物の科学(生物学)	1前	講義	30		2				○				
	A-22-104	物質の反応(化学)	1前	講義	30		2				○				
	A-22-105	物質の科学(物理学)	1後	講義	30		2				○				
	A-22-106	法学(日本国憲法)	1前	講義	30		2				○				
	A-22-107	哲学	1前	講義	30		2				○				
	A-22-108	社会学	1後	講義	30		2				○				
	A-22-109	心理学概論	1前	講義	30	2			①		○				
	A-22-110	発達心理学	1後	講義	30	2			①		○				
	A-22-111	コミュニケーション論	1後	演習	30	1			①		○				
	A-22-112	健康の創造(体育理論)	1前	演習	30		1				○				
	A-22-113	健康スポーツ(体育実技)	1前	実習	30		1				○				
	A-22-201	英語I(精読入門)	1前	演習	30	1					○				
	A-22-202	英語II(精読実践)	1後	演習	30	1					○				
	A-22-203	英語III(速読入門)	2前	演習	30	1					○				
	A-22-204	英語IV(速読実践)	2後	演習	30	1					○				
	A-22-205	英語V(原書精読)	4前	演習	30		1				○				
	A-22-206	英語VI(原書速読)	4後	演習	30		1				○				
	A-22-207	英語コミュニケーション	1後	演習	30		1				○				
	A-22-208	集中英語演習	2後	演習	30		1				○				
	A-22-209	中国語	1前	演習	30		1				○				
	A-22-301	情報リテラシー入門	1前	演習	30	1					○				
	A-22-302	情報リテラシー実践	1後	演習	30		1				○				
	A-22-303	生化学	1後	講義	30	2			①		○				
	A-22-304	栄養学と食育	1後	演習	30	1			①			○			
	A-22-305	東洋医学特講	2前	演習	30	1			②				○		
	専門 基礎 科目	人体の 構造と 機能	M-22-101	人体の構造I(臓性系)	1前	講義	30	2			①	必修科目 8単位		○	
			M-22-102	人体の構造II(体性系)	1前	演習	30	1			①			○	
			M-22-103	人体の構造III(体表・映像・模型解剖学)	1後	講義	15	1			①			○	
M-22-104			人体の機能I(動物性機能)	1前	講義	30	2		①		○				
M-22-105			人体の機能II(植物性機能)	1前	講義	30	2		①		○				
疾病の 成り立ち と回復 促進		M-22-201	病理学概論	1後	講義	30	2		①	必修科目 16単位		○			
		M-22-202	臨床薬理学概論	2後	講義	30	2		②			○			
		M-22-203	臨床疾患学I(内科系)	2前	講義	60	4		②			○			
		M-22-204	臨床疾患学II(外科系)	2後	講義	30	2		②			○			
		M-22-205	臨床疾患学III(整形・リハビリテーション・老年医学)	2後	講義	30	2		②			○			
		M-22-206	臨床疾患学IV(小児)	2後	講義	15	1		②			○			
		M-22-207	臨床疾患学V(精神)	2後	講義	15	1		②			○			
		M-22-208	生体防御学	2後	講義	15	1		②			○			
M-22-209		病態生理学	1後	講義	15	1		①		○					
社会 保障 制度 と健康 支援		M-22-301	公衆衛生学	2後	講義	15	1		②	必修科目 6単位 *疫学・保健統計 学は保健師国家試 験受験資格を得る ための選択科目		○			
	M-22-302	疫学・保健統計学*	3前	講義	30		2	C-22-202・203・205・206			○				
	M-22-303	保健医療福祉行政論	2後	講義	15	1		②			○				
	M-22-304	社会保障・社会福祉の基礎	1後	講義	30	2		③			○				
	M-22-305	医療関連法規	2後	講義	30	2		③			○				

学校法人 花田学園 東京有明医療大学

科目区分	科目 ナンバー コード	授業科目の名称	配当 年次	授業 形態	時間 数	単位数		単位修得後に初めて 履修が可能となる 科目のナンバーコード	進級 条件	卒業要件等	ディプロマ・ ポリシー		
						必修	選択				①	②	③
看護学の基盤	B-22-101	看護学概論	1前	講義	30	2			①	必修科目 15単位		○	
	B-22-102	看護理論の基礎	1後	講義	15	1			①			○	
	B-22-103	基礎看護方法論Ⅰ（日常生活の援助技術）	1後	演習	60	2			①			○	
	B-22-104	基礎看護方法論Ⅱ（診療の補助技術）	2前	演習	60	2	B-22-110		②			○	
	B-22-105	基礎看護方法論Ⅲ（経過・治療・症状別の援助技術）	2後	演習	30	1			②			○	
	B-22-106	フィジカルアセスメント	1後	演習	30	1			①			○	
	B-22-107	看護過程論	2前	演習	60	2	B-22-110		②			○	
	B-22-108	看護倫理学	2後	講義	15	1			②		○	○	
	B-22-109	導入基礎実習	1前	実習	30	1			①			○	
	B-22-110	基礎看護学実習	2前	実習	60	2			②			○	
	領域別看護実践	成人看護学	N-22-101	成人看護学概論	2前	講義	30	2			②	必修科目 39単位	
N-22-111			急性期看護論	3前	演習	30	1	N-22-113	③		○		
N-22-112			周術期看護演習	3前	演習	30	1	N-22-113	③		○		
N-22-113			周術期看護実習	3後	実習	60	2		③		○		
N-22-121			慢性期・終末期看護論Ⅰ（支援の実際）	3前	演習	60	2	N-22-123	③		○		
N-22-122			慢性期・終末期看護論Ⅱ（看護過程）	3前	講義	15	1	N-22-123	③		○		
N-22-123			慢性期・終末期看護実習	3後	実習	60	2		③		○		
老年看護学		N-22-201	老年看護学概論	2前	講義	30	2		②		○		
		N-22-211	老年看護援助論	3前	演習	60	2	N-22-213	③		○		
		N-22-212	コミュニケーション実習	1前	実習	30	1		①		○		
看護学 母性		N-22-213	老年看護学実習	3後	実習	90	3		③		○		
		N-22-301	ウィメンズヘルス看護学概論	2前	講義	30	2		②		○		
		N-22-311	母性看護援助論	3前	演習	60	2	N-22-312	③		○		
小児看護学		N-22-312	母性看護学実習	3後	実習	60	2		③		○		
		N-22-401	小児看護学概論	2前	講義	30	2		②		○		
		N-22-411	小児看護援助論	3前	演習	60	2	N-22-412・413	③		○		
精神看護学		N-22-412	小児看護学実習	3後	実習	60	2		③		○		
		N-22-413	小児療育実習	3後	実習	30	1		③		○		
		N-22-501	精神看護学概論	2前	講義	30	2		②		○		
	N-22-511	精神看護援助論	3前	演習	60	2	N-22-512	③		○			
	N-22-512	精神看護学実習	3後	実習	60	2		③		○			
地域看護学	在宅看護学	N-22-513	地域精神保健実習	4前	実習	30	1				○		
		C-22-101	在宅看護学概論	2後	講義	30	2		③	必修科目 8単位 * 公衆衛生看護学各論、産業保健看護学、学校保健看護学、公衆衛生看護学管理論、健康教育・保健指導の理論と実際、コミュニティヘルスアセスメント及び公衆衛生看護学実習は保健師国家試験受のため の選択科目		○	
		C-22-102	在宅看護援助論Ⅰ（看護過程の展開）	2後	演習	30	1		③			○	
		C-22-103	在宅看護援助論Ⅱ（活動の実際）	4前	講義	15	1	C-22-104				○	
	C-22-104	在宅看護学実習	4前	実習	60	2					○		
	公衆衛生看護学	C-22-201	公衆衛生看護学概論	2後	講義	30	2		③			○	
		C-22-202	公衆衛生看護学各論 *	3後	講義	30	2	C-22-204				○	
		C-22-203	産業保健看護学・学校保健活動論 *	3後	講義	15	1	C-22-204				○	
		C-22-204	公衆衛生看護学管理論 *	4前	講義	15	1	C-22-207				○	
		C-22-205	健康教育・保健指導の理論と実際 *	3後	演習	30	1	C-22-204				○	
C-22-206		コミュニティヘルスアセスメント *	3後	演習	30	1	C-22-204				○		
C-22-207	公衆衛生看護学実習 *	4前	実習	150	5				○				
看護の統合と実践	T-22-101	国際看護論	2後	講義	15	1	T-22-102・103		必修科目 9単位 選択科目 4単位以上 修得 ただし、公衆衛生看護学研究を履修しないものは必ず研究ゼミナールⅡを履修すること。なお、公衆衛生看護学研究と研究ゼミナールⅡは両方履修することができる。 保健師コース選択の学生は総合演習Ⅱ、それ以外の学生は総合演習Ⅰを必ず選択すること。		○		
	T-22-102	国際看護研修Ⅰ（シンガポール）	3後	演習	30	1					○		
	T-22-103	国際看護研修Ⅱ（オーストラリア）	3後	演習	30	1					○		
	T-22-104	看護管理学	4前	講義	30	2					○		
	T-22-105	看護情報学	2後	演習	30	1				③		○	
	T-22-106	看護研究の基礎	2後	演習	30	1						○	
	T-22-107	統合実習	4前	実習	60	2						○	
	T-22-201	研究ゼミナールⅠ（研究計画の立案）	3通	演習	60	2	T-22-202・203	③				○	
	T-22-202	研究ゼミナールⅡ（研究の実際）	4通	演習	60	2						○	
	T-22-203	公衆衛生看護学研究	4通	演習	60	2						○	
	T-22-301	シミュレーション演習	4通	演習	30	1						○	
	T-22-302	総合演習Ⅰ（看護知識の整理と統合）	4通	演習	60	2						○	
	T-22-303	総合演習Ⅱ（公衆衛生看護活動の展開）	4通	演習	60	2						○	

(2)進級条件(2022年度～2025年度入学生)

①以下の科目の中で、1科目でも単位未修得がある場合は2年次に進級できない。

※各学期の評価において、以下の基礎教養科目及び専門基礎科目のうち単位未修得の科目が1科目以内の場合、また専門科目のうち単位未修得の科目が1科目以内の場合は学年末に再度再試験を受けることができる。ただし、*の実習科目は再試験は行わない。

(注)基礎教養科目・専門基礎科目の枠、専門科目の枠、どちらかで進級できないことが確定した場合には、もう一方の枠で単位未修得が1科目以内であっても学年末再試験の対象とはしない。

	科目名	開講年次・期	学年末再試験対象科目数
基礎教養科目	入門ゼミナール	1通	1
	心理学概論	1前	
	発達心理学	1後	
	コミュニケーション論	1後	
	生化学	1後	
	栄養学と食育	1後	
専門基礎科目	人体の構造Ⅰ(臓性系)	1前	
	人体の構造Ⅱ(体性系)	1前	
	人体の構造Ⅲ(体表・映像・模型解剖学)	1後	
	人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1前	
	人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1前	
	病理学概論	1後	
	病態生理学	1後	
専門科目	看護学概論	1前	1
	看護理論の基礎	1後	
	基礎看護方法論Ⅰ(日常生活の援助技術)	1後	
	フィジカルアセスメント	1後	
	導入基礎実習 *	1前	
	コミュニケーション実習 *	1前	

②以下の科目の中で、1科目でも単位未修得がある場合は3年次に進級できない。

※各学期の評価において、以下の基礎教養科目及び専門基礎科目のうち単位未修得の科目が1科目以内の場合、また専門科目のうち単位未修得の科目が1科目以内の場合は学年末に再度再試験を受けることができる。ただし、実習科目は再試験は行わない。

なお、*の科目は実習科目の先修条件科目となっているため、学年末の再試験は行わない。

(注)基礎教養科目・専門基礎科目の枠、専門科目の枠、どちらかで進級できないことが確定した場合には、もう一方の枠で単位未修得が1科目以内であっても学年末再試験の対象とはしない。

	科目名	開講年次・期	学年末再試験対象科目数	
基礎教養科目	基礎ゼミナール	2通	1	
	東洋医学特講	2前		
専門基礎科目	臨床薬理学概論	2後		
	臨床疾患学Ⅰ(内科系)	2前		
	臨床疾患学Ⅱ(外科系)	2後		
	臨床疾患学Ⅲ(整形・リハビリテーション・老年医学)	2後		
	臨床疾患学Ⅳ(小児)	2後		
	臨床疾患学Ⅴ(精神)	2後		
	生体防御学	2後		
	公衆衛生学	2後		
	保健医療福祉行政論	2後		
専門科目	基礎看護方法論Ⅱ(診療の補助技術) *	2前		1
	基礎看護方法論Ⅲ(経過・治療・症状別の援助技術)	2後		
	看護過程論 *	2前		
	看護倫理学	2後		
	基礎看護学実習	2前		
	成人看護学概論	2前		
	老年看護学概論	2前		
	ウィメンズヘルス看護学概論	2前		
	小児看護学概論	2前		
精神看護学概論	2前			

③以下の科目の中で、1科目でも単位未修得がある場合は4年次に進級できない。

※学年末の再度の再試験は行わない。

	科目名	開講年次・期
専門基礎科目	社会保障・社会福祉の基礎	1 後
	医療関連法規	2 後
専門科目	急性期看護論	3 前
	周術期看護演習	3 前
	周術期看護実習	3 後
	慢性期・終末期看護論Ⅰ(支援の実際)	3 前
	慢性期・終末期看護論Ⅱ(看護過程)	3 前
	慢性期・終末期看護実習	3 後
	老年看護援助論	3 前
	老年看護学実習	3 後
	母性看護援助論	3 前
	母性看護学実習	3 後
	小児看護援助論	3 前
	小児看護学実習	3 後
	小児療育実習	3 後
	精神看護援助論	3 前
	精神看護学実習	3 後
	在宅看護学概論	2 後
	在宅看護援助論Ⅰ(看護過程の展開)	2 後
	公衆衛生看護学概論	2 後
	看護研究の基礎	2 後
	研究ゼミナールⅠ(研究計画の立案)	3 通

(3)卒業単位(2022年度～2025年度入学生)

履修科目区分		必修科目単位数	選択科目単位数	
基礎教養科目		18 単位	8 単位以上	
専門基礎科目	人体の構造と機能	8 単位	—	
	疾病の成り立ちと回復促進	16 単位	—	
	健康支援と社会保障制度	6 単位	—	
専門科目	看護学の基盤	15 単位	—	
	領域別看護実践	成人看護学	11 単位	—
		老年看護学	8 単位	—
		母性看護学	6 単位	—
		小児看護学	7 単位	—
		精神看護学	7 単位	—
	地域看護学	在宅看護学	6 単位	—
		公衆衛生看護学	2 単位	—
	看護の統合と実践	9 単位	4 単位	
	合 計		119 単位	12 単位以上
卒業所定単位数		131 単位以上		

以上の単位を修得し、卒業すると、看護師の国家試験受験資格を得ることができる。

2. 2021年度入学生

(1)看護学科 教育課程表及び履修するための条件(2021年度入学生)

科目区分	科目 ナンバー コード	授業科目の名称	配当 年次	授業 形態	時 間 数	単位数		単位修得後に初めて 履修が可能となる 科目のナンバーコード	進級 条件	卒業要件等	ディプロマ・ ポリシー		
						必修	選択				①	②	③
基礎教養科目	A-19-101	入門ゼミナール	1通	演習	60	2			①		○		
	A-19-102	基礎ゼミナール	2通	演習	60	2			②		○		
	A-19-103	生き物の科学 (生物学)	1前	講義	30		2				○		
	A-19-104	物質の反応 (化学)	1前	講義	30		2				○		
	A-19-105	物質の科学 (物理学)	1後	講義	30		2				○		
	A-19-106	法学 (日本国憲法)	1前	講義	30		2				○		
	A-19-107	哲学	1前	講義	30		2				○		
	A-19-108	社会学	1後	講義	30		2				○		
	A-19-109	心理学概論 I	1前	講義	30	2			①		○		
	A-19-110	心理学概論 II	1後	講義	30	2			①		○		
	A-19-111	コミュニケーション論	1後	演習	30	1			①		○		
	A-19-112	健康の創造 (体育理論)	1前	演習	30		1				○		
	A-19-113	健康スポーツ (体育実技)	1前	実習	30		1				○		
	A-19-201	英語 I	1前	演習	30	1					○		
	A-19-202	英語 II	1後	演習	30	1					○		
	A-19-203	英語 III	2前	演習	30	1					○		
	A-19-204	英語 IV	2後	演習	30	1					○		
	A-19-205	英語 V	3前	演習	30		1				○		
	A-19-206	英語 VI	3後	演習	30		1				○		
	A-19-207	英語 VII	4前	演習	30		1				○		
	A-19-208	英語 VIII	4後	演習	30		1				○		
A-19-209	英語コミュニケーション	1後	演習	30		1				○			
A-19-210	集中英語演習	3後	演習	30		1				○			
A-19-211	中国語	1前	演習	30		1				○			
A-19-301	情報リテラシー I	1前	演習	30		1				○			
A-19-302	情報リテラシー II	1後	演習	30		1				○			
A-19-303	生化学	1後	講義	30	2			①		○			
A-19-304	栄養学と食育	1後	演習	30	1			①			○		
A-19-305	東洋医学特講	2前	演習	30	1			②			○		
専門基礎科目	人体の構造と機能	M-19-101	人体の構造 I	1前	講義	30	2		①			○	
		M-19-102	人体の構造 II	1前	演習	30	1		①			○	
		M-19-103	人体の構造 III	1後	講義	15	1		①			○	
		M-19-104	人体の機能 I	1前	講義	30	2		①			○	
		M-19-105	人体の機能 II	1前	講義	30	2		①			○	
	疾病の成り立ちと回復の促進	M-19-201	病理学概論	1後	講義	30	2		①			○	
		M-19-202	臨床薬理学概論	2後	講義	30	2		②			○	
		M-19-203	臨床疾患学 I (内科系)	2前	講義	30	2		②			○	
		M-19-204	臨床疾患学 II (外科系)	2後	講義	30	2		②			○	
		M-19-205	臨床疾患学 III (整形・リハビリテーション・老年医学)	2後	講義	30	2		②			○	
		M-19-206	臨床疾患学 IV (小児)	2後	講義	15	1		②			○	
		M-19-207	臨床疾患学 V (精神)	2後	講義	15	1		②			○	
		M-19-208	生体防御学	2後	講義	15	1		②			○	
		M-19-209	病態生理学	1後	講義	15	1		①			○	
		社会保健制度 健康支援と	M-19-301	公衆衛生学	2後	講義	15	1		②			○
M-19-302	疫学・保健統計学 *		3前	講義	30		2	C-19-202・204・205			○		
M-19-303	保健医療福祉行政論		2後	講義	15	1		②			○		
M-19-304	社会保障・社会福祉の基礎		1後	講義	30	2		③			○		
M-19-305	医療関連法規		2後	講義	30	2		③			○		

必修科目
17単位
選択科目から
8単位以上選択

ただし、「生き物の科学 (生物学)」「物質の反応 (化学)」「物質の科学 (物理学)」の中から2単位以上修得、「法学」「哲学」「社会学」の中から2単位以上修得、「英語 V」「英語 VI」「英語 VII」「英語 VIII」「英語コミュニケーション」「集中英語演習」の中から2単位以上修得すること。

必修科目
8単位

必修科目
14単位

必修科目
6単位
*疫学・保健統計学は保健師国家試験受験資格を得るための選択科目

学校法人 花田学園 東京有明医療大学

科目区分	科目 ナンバー コード	授業科目の名称	配当 年次	授業 形態	時間 数	単位数		単位修得後に初めて 履修が可能となる 科目のナンバーコード	進級 条件	卒業要件等	ディプロマ・ ポリシー		
						必修	選択				①	②	③
看護学の基礎	B-19-101	看護学概論	1前	講義	30	2			①	必修科目 14単位		○	
	B-19-102	看護理論の基礎	1後	講義	15	1			①			○	
	B-19-103	基礎看護方法論Ⅰ	1後	演習	60	2			①			○	
	B-19-104	基礎看護方法論Ⅱ	2前	演習	60	2	B-19-110		②			○	
	B-19-105	基礎看護方法論Ⅲ	2後	演習	30	1			②			○	
	B-19-106	フィジカルアセスメント	1後	演習	30	1			①			○	
	B-19-107	看護過程論	2前	演習	30	1	B-19-110		②			○	
	B-19-108	看護倫理学	2後	講義	15	1			②		○	○	
	B-19-109	導入基礎実習	1前	実習	30	1			①			○	
	B-19-110	基礎看護学実習	2前	実習	60	2			②			○	
	領域別看護実践	成人看護学	N-19-101	成人看護学概論	2前	講義	30	2			②	必修科目 39単位	
N-19-111			急性期看護論	3前	演習	30	1	N-19-113	③		○		
N-19-112			周手術期看護演習	3前	演習	30	1	N-19-113	③		○		
N-19-113			周手術期看護実習	3後	実習	90	3		③		○		
N-19-121			慢性期・終末期看護論Ⅰ	3前	演習	60	2	N-19-123	③		○		
N-19-122			慢性期・終末期看護論Ⅱ	3前	講義	15	1	N-19-123	③		○		
老年看護学		N-19-201	老年看護学概論	2前	講義	30	2		②		○		
		N-19-211	老年看護援助論	3前	演習	60	2	N-19-213	③		○		
		N-19-212	老年看護学実習Ⅰ	1前	実習	30	1		①		○		
母性看護学		N-19-213	老年看護学実習Ⅱ	3後	実習	90	3		③		○		
		N-19-301	ウィメンズヘルス看護学概論	2前	講義	30	2		②		○		
		N-19-311	母性看護援助論	3前	演習	60	2	N-19-312	③		○		
小児看護学		N-19-312	母性看護学実習	3後	実習	60	2		③		○		
		N-19-401	小児看護学概論	2前	講義	30	2		②		○		
		N-19-411	小児看護援助論	3前	演習	60	2	N-19-412	③		○		
精神看護学	N-19-412	小児看護学実習	3後	実習	60	2		③		○			
	N-19-501	精神看護学概論	2前	講義	30	2		②		○			
	N-19-511	精神看護援助論	3前	演習	60	2	N-19-512	③		○			
在宅看護学	N-19-512	精神看護学実習	3後	実習	60	2		③		○			
	C-19-101	在宅看護学Ⅰ	2後	講義	15	1		③	必修科目 6単位 * 公衆衛生看護学各論、健康教育・保健指導の理論と実際、コミュニティヘルスアセスメント、公衆衛生看護学実習は保健師国家試験受験資格を得るための選択科目		○		
	C-19-102	在宅看護学Ⅱ	2後	演習	30	1		③			○		
	C-19-103	在宅看護学Ⅲ	4前	講義	15	1	C-19-104				○		
	C-19-104	在宅看護学実習	4前	実習	60	2					○		
	C-19-201	公衆衛生看護学概論	2後	講義	15	1		③			○		
	C-19-202	公衆衛生看護学各論Ⅰ*	3後	講義	30	2	C-19-203				○		
	C-19-203	公衆衛生看護学各論Ⅱ*	4前	講義	15	1	C-19-206				○		
	C-19-204	健康教育・保健指導の理論と実際*	3後	演習	30	1	C-19-203				○		
	C-19-205	コミュニティヘルスアセスメント*	3後	演習	30	1	C-19-203				○		
C-19-206	公衆衛生看護学実習*	4前	実習	150	5					○			
統合科目	看護の統合と実践	T-19-101	国際看護論	2後	講義	15	1	T-19-102・103		必修科目 9単位 選択科目 4単位以上 ただし、公衆衛生看護学研究を履修しないものは必ず研究ゼミナールⅡを履修すること。なお、公衆衛生看護学研究と研究ゼミナールⅡは両方履修することができる。			○
		T-19-102	国際看護研修Ⅰ	3後	演習	30	1						○
		T-19-103	国際看護研修Ⅱ	3後	演習	30	1						○
		T-19-104	看護管理学	4前	講義	30	2					○	
		T-19-105	看護情報学	2後	演習	30	1				③		○
		T-19-106	看護研究の基礎	2後	演習	30	1						○
		T-19-107	統合実習	4前	実習	60	2						○
	T-19-201	研究ゼミナールⅠ	3通	演習	60	2	T-19-202・203	③			○		
	T-19-202	研究ゼミナールⅡ	4通	演習	60	2					○		
	T-19-203	公衆衛生看護学研究	4通	演習	60	2					○		
	T-19-301	シミュレーション演習	4通	演習	30	1					○		
	T-19-302	総合演習Ⅰ	4通	演習	60	2					○		
	T-19-303	総合演習Ⅱ	4通	演習	60	2					○		

(2)進級条件(2021年度入学生)

①以下の科目の中で、1科目でも単位未修得がある場合は2年次に進級できない。

※各学期の評価において、以下の基礎教養科目及び専門基礎科目のうち単位未修得の科目が1科目以内の場合、また専門科目のうち単位未修得の科目が1科目以内の場合は学年末に再度再試験を受けることができる。ただし、実習科目は再試験は行わない。

(注)基礎教養科目・専門基礎科目の枠、専門科目の枠、どちらかで進級できないことが確定した場合には、もう一方の枠で単位未修得が1科目以内であっても学年末再試験の対象とはしない。

	科目名	開講年次・期	学年末再試験対象科目数
基礎教養科目	入門ゼミナール	1通	1
	心理学概論Ⅰ	1前	
	心理学概論Ⅱ	1後	
	コミュニケーション論	1後	
	生化学	1後	
	栄養学と食育	1後	
専門基礎科目	人体の構造Ⅰ	1前	
	人体の構造Ⅱ	1前	
	人体の構造Ⅲ	1後	
	人体の機能Ⅰ	1前	
	人体の機能Ⅱ	1前	
	病理学概論	1後	
	病態生理学	1後	
専門科目	看護学概論	1前	1
	看護理論の基礎	1後	
	基礎看護方法論Ⅰ	1後	
	フィジカルアセスメント	1後	
	導入基礎実習	1前	
	老年看護学実習Ⅰ	1前	

②以下の科目の中で、1科目でも単位未修得がある場合は3年次に進級できない。

※各学期の評価において、以下の基礎教養科目及び専門基礎科目のうち単位未修得の科目が1科目以内の場合、また専門科目のうち単位未修得の科目が1科目以内の場合は学年末に再度再試験を受けることができる。ただし、実習科目は再試験は行わない。
なお、*の科目は実習科目の先修条件科目となっているため、学年末の再試験は行わない。

(注)基礎教養科目・専門基礎科目の枠、専門科目の枠、どちらかで進級できないことが確定した場合には、もう一方の枠で単位未修得が1科目以内であっても学年末再試験の対象とはしない。

	科目名	開講年次・期	学年末再試験対象科目数	
基礎教養科目	基礎ゼミナール	2通	1	
	東洋医学特講	2前		
専門基礎科目	臨床薬理学概論	2後		
	臨床疾患学Ⅰ(内科系)	2前		
	臨床疾患学Ⅱ(外科系)	2後		
	臨床疾患学Ⅲ(整形・リハビリテーション・老年医学)	2後		
	臨床疾患学Ⅳ(小児)	2後		
	臨床疾患学Ⅴ(精神)	2後		
	生体防御学	2後		
	公衆衛生学	2後		
	保健医療福祉行政論	2後		
専門科目	基礎看護方法論Ⅱ *	2前		1
	基礎看護方法論Ⅲ	2後		
	看護過程論 *	2前		
	看護倫理学	2後		
	基礎看護学実習	2前		
	成人看護学概論	2前		
	老年看護学概論	2前		
	ウイメンズヘルス看護学概論	2前		
	小児看護学概論	2前		
	精神看護学概論	2前		

③以下の科目の中で、1科目でも単位未修得がある場合は4年次に進級できない。

※学年末の再度の再試験は行わない。

	科目名	開講年次・期
専門基礎科目	社会保障・社会福祉の基礎	1 後
	医療関連法規	2 後
専門科目	急性期看護論	3 前
	周手術期看護演習	3 前
	周手術期看護実習	3 後
	慢性期・終末期看護論I	3 前
	慢性期・終末期看護論II	3 前
	慢性期・終末期看護実習	3 後
	老年看護援助論	3 前
	老年看護学実習II	3 後
	母性看護援助論	3 前
	母性看護学実習	3 後
	小児看護援助論	3 前
	小児看護学実習	3 後
	精神看護援助論	3 前
	精神看護学実習	3 後
	在宅看護学 I	2 後
	在宅看護学 II	2 後
	公衆衛生看護学概論	2 後
	看護研究の基礎	2 後
研究ゼミナールI	3 通	

(3)卒業単位(2021年度入学生)

履修科目区分		必修科目単位数	選択科目単位数	
基礎教養科目		17 単位	8 単位以上	
専門基礎科目	人体の構造と機能	8 単位	—	
	疾病の成り立ちと回復促進	14 単位	—	
	健康支援と社会保障制度	6 単位	—	
専門科目	看護学の基盤	14 単位	—	
	領域別看護実践	成人看護学	13 単位	—
		老年看護学	8 単位	—
		母性看護学	6 単位	—
		小児看護学	6 単位	—
		精神看護学	6 単位	—
	統合科目	在宅看護学	5 単位	—
		公衆衛生看護学	1 単位	—
		看護の統合と実践	9 単位	4 単位
合 計		113 単位	12 単位以上	
卒業所定単位数		125 単位以上		

以上の単位を修得し、卒業すると、看護師の国家試験受験資格を得ることができる。

3. 「国際看護研修」の学内選考について

「国際看護研修Ⅰ(シンガポール)」、「国際看護研修Ⅱ(オーストラリア)」の履修について、所定の人数以上の応募があった場合、学内選考を行います。

「国際看護研修Ⅰ(シンガポール)」の申請と選考方法

■履修の前提条件

2年次後学期科目「国際看護論」を「履修済み」もしくは「履修中」であること。

■申請方法と締切

履修を希望する学生は、7月末日までに学務部教務課に登録フォームで申請をすること。

■選考について

履修希望者が定員以上となった場合、以下の基準で選考を行う。

- ①上級生から選抜する
- ②GPAの高い順に選抜する
- ③バディ活動の活動実績を考慮する

「国際看護研修Ⅱ(オーストラリア)」の申請と選考方法

■履修の前提条件

2年次後学期科目「国際看護論」を「履修済み」であること

■申請方法と締切

履修を希望する学生は、1月末日までに学務部教務課に登録フォームで申請をすること。

■選考について

履修希望者が定員以上となった場合、以下の基準で選考を行う

- ①上級生から選抜する
- ②GPAの高い順に選抜する
- ③バディ活動の活動実績を考慮する

■最少催行人数は、5名である。

選考スケジュールについて

(下記はおおよその見込みであり、若干ずれることもあります。)

